

団体名： 渥美商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価															
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等		備考	
				指標	達成度		指標	達成度		総合評価	事業評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標			
巡回・窓口相談指導事業	経営指導員等が小規模零細企業を中心とした事業所へ訪問。 融資等の金融相談、従業員や企業規則等の労務相談、申告時期の税務相談など、経営全般について様々な相談への対応をすることにより健全な企業の育成を図る。窓口指導についても、今まで以上に門戸を広げ、経営改善に資する指導を行う。	・巡回窓口指導実企業数262企業（内、非会員16企業） ・巡回窓口指導延件数779件（内、非会員40件） ・課題解決提案件数22件 ・専門家派遣 延6回派遣 ・経営革新計画承認件数 1件 ・ものづくり補助金申請件数1件 ・小規模事業者持続化補助金申請件数 9件 ・経営力向上計画承認件数2件 ・田原市先端設備等導入計画承認件数 1件 ・田原市特定創業支援事業補助金申請件数 2件	小規模事業者		指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 129.8 %)		指標	課題解決提案件数 (達成度 110.0 %)								得られた効果		総合評価
記帳継続指導	商工会の職員が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法や決算等の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上を支援する。	指導対象事業者数 91件 指導日数 785日 指導回数 914回	小規模事業者	指標	指導対象事業者数 (達成度 98.9 %)		指標	達成度 %		年間を通しての記帳指導と源泉・年調・決算申告の指導を通じ、申告納税制度への理解と正しい記帳による正しい申告の重要性を認識してもらえた。 また、e-Taxによる電子申告も多くの事業主がその利便性を認識し、マイナンバーカードの取得者が増加した。	総合評価	A	事業評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	自主申告納税制度への理解を深め、正しい記帳・申告を推進し、経営力の向上を支援していく。
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な経営・金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、小規模事業者が抱える経営上の問題点に対応する実務的な講習会及び個別指導会を開催する。	集団 経営一般 2回 40人 税務 2回 45人 個別 経営一般 7回 15人 金融 1回 2人 税務 22回 153人	小規模事業者	指標	講習会参加者数 (達成度 117.0 %)		指標	達成度 %		小規模事業者の経営等に於いて、必要とされる事項を開催することができ、受講者の資質の向上を図ることができた。個別指導では専門家より指導を受けられ課題解決へと繋がり、経営計画に前向きな姿勢をとれるようになった。	総合評価	A	事業評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	多くの事業者が参加しやすしい体制を整え、適宜ニーズにあった内容及び時期を思索し開催していく。
祭典事業（あつみ夏まつり）	地域住民の賑わいやふれあいを通じて「まち」の活性化を図るとともに、今後の地域の産業発展を目指して、夏の風物詩である夜店「あつみ夏まつり」を開催し、地域の内側から「まち」の元気を促進する。	実施日 8月25日(土) 来場者数 8,082人 会員出店者数 19件 各種団体数 16団体	商工業者	指標	笑店街参加企業数 (達成度 95.0 %)		指標	達成度 %		1) 地区商工業者に協賛金を募り、抽選券を発行することで消費者の購買意識の向上を図れた。 2) 商工業者が自ら出店する機会を与えることにより地域住民との密接な交流を図れ自店のPRに務めることができた。 3) 出店者は地域活性化に対する意識が高まり、地域への関心と自店発展への向上効果が図れた。 4) 商業振興事業費補助金(地域商業活性化事業)を活用し、地域防災および交通安全の啓発が図れた。	総合評価	A	事業評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	本年度よりステージの設営を廃止し、目玉となるイベントを大道芸人の路上ショーにすることで来場者に新鮮な印象を与えられた。また、会場と時期について検討したが現状が望ましいという結果となった。しかし、8月の猛暑の影響から客足は鈍いため、開始・終了時間を1時間遅らせたことで、より多くの集客に繋がった。当面はこのイメージが定着するまで継続したい。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 渥美商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価													
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価				今後の展開・改善点等	備考	
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値		総合評価	事業側評価	自己評価	調査結果			
地域振興事業（貝づくし渥美事業）	渥美半島の観光資源を活かした物産品開発や観光サービスについて調査・研究・開発を行った結果、渥美の観光食材づくりの位置づけとして、「貝」を取り上げ、平成21年2月14日を皮切りに「貝づくし渥美」をスタート。内容は、渥美地区全域に「貝」を浸透させ、「貝づくし渥美」を根付かせ、観光客へ「貝づくし渥美」をPRし活気ある観光地への位置づけを目的とする。	協力店全体会議 6回 4月8日貝の日イベントの実施物産展等への参加10回 全国どんぶりサミットへの協賛参加 渥美半島菜の花まつりへの協賛参加	飲食店、宿泊施設を中心とした商工業者	指標	加入件数及び構成員数 (達成度 95.5 %)	指標	(達成度 %)	4月8日は貝の日であることを関西方面にもPR出来たことで広域に認識させることができた。地元漁師さんによる垂下あさりの養殖が成功し今年度より販売され今後のあさりの供給に安定の見通しがみえ、飲食店での食材としての取扱がし易くなった。	総合評価	B	事業側評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	行政・漁業組合等と連携を図り、貝の需要と供給のバランスを認識しながら、渥美半島で採れる貝のおいしさを市内外へ伝える方法を企画する。
商工業振興事業（ポイントカード等推進事業）	ポイントカード事業の推進により、顧客確保、商圏内からの購買力の流出防止や大型店対策を図り、商工業者の発展及び地域産業の活性化を図る。	販売促進並びに消費者サービスを目的として、カード事業の宣伝活動及び共同売出し、抽選会、招待会等のイベントを開催。 折込チラシ等販売促進イベント回数 21回	事業加盟店	指標	販売促進イベント回数 (達成度 105.0 %)	指標	(達成度 %)	隣接する地域のカード事業と共同でイベントや店舗情報を消費者へアピールすることによるスケールメリットを感じられ、新規顧客の確保・購買力の流出防止に繋げることができた。	総合評価	A	事業側評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	イベントがマンネリ化しないように常にイベント内容を精査し、加盟店の負担にならない、簡単に誰もが楽しめるイベントを模索する。
観光振興事業（グリーン事業）	地域小規模事業者が一体となって、渥美半島＝観光地という認識を高め、お客様を迎える体制作りをする為にも、観光地にとって大きな比重を占める清潔度をとり上げ、小規模事業者による渥美半島グリーン事業を行う。	観光の活性化として渥美半島の代表的な観光地である伊良湖周辺の清掃活動を重点的に実施。 6月9日（土）開催 参加者数930人	商工業者、ボランティア	指標	参加者数 (達成度 775.0 %)	指標	(達成度 %)	伊良湖湖は観光地であるという認識を高め、企業が協力し合って、観光客を迎える体制作りができ、「綺麗な観光地」のイメージを形成することができた。	総合評価	A	事業側評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	観光地であることに意識を高め、集客するためには何が必要かを常に考えさせるよう企業の意識改革に努める。
人材育成事業（外国人実習生受入事業）	外国人技能実習生受入企業の活性化と国際貢献を目的として、外国から意欲ある優秀な若者を受け入れ、わが国の優れた「技術・技能・知識」を職場で実際に作業をしながら習得し、帰国後に母国の産業振興に寄与できる人材の育成を図る。	新規受入人数 8人 企業巡回18回 技能検定試験の実施	渥美商工会員	指標	技能実習生新規受入人数 (達成度 100.0 %)	指標	(達成度 %)	小規模事業者の慢性的な人材不足が、技能実習生の受け入れを行うことで安定的な人材を確保し生産活動を維持し継続することが可能となっている。	総合評価	A	事業側評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	新たな受け入れ企業の発掘に努める。
青年部事業	青年部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与する。	研修会及びコミュニティー活動の開催、地域活性化事業等の本会事業への参加。また、随時、常任委員会を開催。 青年部事業回数 80回	青年部員	指標	事業の開催回数 (達成度 200.0 %)	指標	(達成度 %)	青年部事業を通して、地域リーダーの後継者を育成し、県内外問わず、同世代の仲間との交流や各種事業実施の経験をする過程において自分を磨き、企業及び地域の後継者としての知識の習得や人格形成ができた。	総合評価	A	事業側評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	事業内容を充実させ、企画・運営を通しより良い人材の育成に努める。
女性部事業	女性部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与する。	研修会及びコミュニティー活動の開催、地域活性化事業等の本会事業への参加。また、随時、常任委員会を開催。 女性部事業回数 24回	女性部員	指標	事業の開催回数 (達成度 104.3 %)	指標	(達成度 %)	経営への参画、経営に必要な知識の習得の他、地域社会の活性化活動への参加やセミナーを通じて他業種間での交流と自己啓発が図れた。	総合評価	A	事業側評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	部員の高齢化と事業の廃業等による部員数は減少傾向にある。魅力ある企画と事業を充実させ加入動員に繋げたい。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 渥美商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考				
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価							
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施側の評価	調査結果	満足度			必要性	補足	目標	
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図る。	算定基礎賃金報告書に基づき労働保険料の申告・納付(3期)。労働保険に関する各種届出の事務手続。巡回・窓口指導など従業員把握とともに、加入促進。委託事業所数 55件	従業員を雇用している商工業者	指標	委託事業所数 (達成度 94.8 %)			指標	達成度 %			総合評価	A	実施側の評価	自己評価	満足度	補足	目標	廃業は無かったが従業員の高齢を理由とした退職などから雇用不在による委託解除が目立った。国内を始め地域の人手不足が改善されない限り、現状を維持することが今一番の取り組みである。また、次年度は働き方改革による法改正が順次始まることから、事業主への情報発信と理解に努める。
				目標数値	58	実績数値	55	目標数値		実績数値					B	A		下げる	
				目標数値		58	55	目標数値							B	A		実施方法	
																		現行どおり	
税務関係団体指導事業（法人会事業）	法人会の税務支援・地域貢献の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては、商工業の活性化に資する。	社長税務研修会、キャッシュレス決済活用セミナー、経理担当者税務研修会を開催。税の啓発活動として税金の使い道の記載された「れんらくちょう」を小学校新1年生に配布。法人会本部及び関係団体との情報交換や連携を密にし組織強化を図った。本部事業 11回 本部事業 研修会 1回 参加人員計15名 支部事業 8回 支部事業 研修会 2回 参加人員計26名	法人会会員	指標	各種事業の回数 (達成度 73.3 %)			指標	達成度 %			総合評価	B	実施側の評価	自己評価	満足度	補足	目標	次年度もセミナー等の研修会の充実を図ることで、法人会活動のPR強化を図る。また、本部、及び税務署と連携し、経営者の租税への理解と啓発に努める。
				目標数値	30	実績数値	22	目標数値		実績数値					B	B		下げる	
															C	A		実施方法	
																		現行どおり	
税務関係団体指導事業（青申会事業）	青色申告会等の税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては、商工業の活性化に資する。	源泉徴収事務、年末調整事務、決算・確定申告事務を開催。税務研修会など会員相互の交流事業を開催。連合会及び関係団体との情報交換や連携を密にし組織強化を図った。役員会等 6回 税務指導会 22回 管内事業への出席 11回 関係団体への出席 5回	青色申告会会員	指標	各種事業の回数 (達成度 110.0 %)			指標	達成度 %			総合評価	A	実施側の評価	自己評価	満足度	補足	目標	16日間申告の指導会を開催したが、依然として後半の日程に参加者が集中してしまふ傾向がある。次年度も同様に2月中の早期提出を呼び掛け時間に余裕を持った申告処理が出来るように改善を図る。
				目標数値	40	実績数値	44	目標数値		実績数値					A	A		現状維持	
															A	A		実施方法	
																		現行どおり	
若手後継者等育成事業	若手後継者である青年部員が、地域経済の発展（マクロ）と小規模事業者の持続的な発展（ミクロ）の両面から、その課題解決に向けた取り組みを行うことで、地域経済の中心を担っていく者としての資質の向上を目的とする。	事業承継セミナー 開催日：10月17日・23日・29日 参加人数：20名 商工会青年部全国大会 開催日：11月21日～22日 参加人数3名 鳥羽伊良湖観光交流事業 開催日：3月24日 来場者数5,000人 両市の地域資源を活かした対決勝負のイベントを実施	一般参加者 小規模事業者	指標	料対決参加者数 (達成度 90.7 %)			指標	セミナー参加者数 (達成度 100.0 %)			総合評価	A	実施側の評価	自己評価	満足度	補足	目標	セミナーは事業承継をテーマに知識を身につける事業の発展を目指す。三河湾で繋がっている鳥羽市との交流を更に深く、交通機関である伊勢湾フェリー乗船客の増加を目的とした企画を図る。
				目標数値	1000	実績数値	907	目標数値	20	実績数値	20				A	A		両方現状維持	
															B	A		実施方法	
																		両方現行どおり	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。